

馬産地ライター村本浩平の 2019 スタリオンシリーズ競走種牡馬名鑑

Vol. 4 | 10.1 [火] ▶ 11.7 [木] 開催分



10.3
[木]

マクフィ賞
【サンライズカップ [H2]】

マクフィは現在12歳。2007年3月4日産まれのイギリス産馬となります。父はDubawi、母はDhelaal (母の父Green Desert)。祖父は僅か1世代しか産駒を残せなかったDubai Millennium。その貴重な血脈を受け継いだマクフィは、3歳時のジェベル賞で重賞初勝利をあげると、続く英2000ギニーでGI初制覇を果たします。父Dubawiだけでなく、祖父のDubai Millenniumも勝利をあげたジャックルマロワ賞では、父仔三代同一GI制覇という偉業を成し遂げます。この年には欧州3歳牡馬チャンピオンにも選出。生涯成績は6戦4勝となっています。現役引退後はイギリス、ニュージーランド、フランスで繋養され、2017年シーズンから新ひだか町の日本軽種馬協会静内種馬場で繋養開始。既に海外では4頭のGIウイナーを送り出しています。

10.8
[火]

ファインニードル賞
【道営スプリント [H2]】

新種牡馬

ファインニードルは現在6歳。2013年4月26日に日高町のダーレー・ジャパン・ファームで誕生しています。父はアドマイヤムーンで、母はニードルクラフト (母の父Mark of Esteem)。スプリンターの能力が開花したのは4歳を迎えてから。この年にオープン入りを果たすと、秋にはセントウルSで重賞初制覇。次の年にもシルクロードSを勝利します。GI初挑戦ながら1番人気となった高松宮記念では、その期待に応えて見事に勝利。セントウルS連覇を挟んで出走したスプリンターズSでも優勝し、史上5頭目となる同年度のスプリントGI制覇と、スプリント重賞4勝という記録も樹立します。昨年、現役を引退し、現在は父アドマイヤムーンも繋養される、日高町のダーレー・ジャパン・スタリオン・コンプレックスでスタッド入りを果たしています。

10.9
[水]

ヴィクトワールピサ賞
【瑞穂賞 [H2]】

ヴィクトワールピサは現在12歳。2007年3月31日に千歳市の社台ファームで誕生しています。父はネオユニヴァースで、母はホワイトウォーターアフェア (母の父Machiavellian)。皐月賞で父ネオユニヴァースとの父仔制覇を果たしたヴィクトワールピサは、その年の凱旋門賞にも出走 (7着)。帰国後に出走した有馬記念では、古馬を一蹴して勝利を収め、その年のJRA最優秀3歳牡馬に選出されます。4歳時にも中山記念を制すると、ドバイワールドカップでは日本馬で初めてとなる勝利をあげ、東日本大震災直後の日本に勇気と元気をもたらします。現役引退後の2012年シーズンから種牡馬入りを果たし、桜花賞馬のジュエラーを始め、数々の重賞馬を輩出。現在は日高町のブリーダーズ・スタリオン・ステーションで繋養されています。

10.24
[木]

パイロ賞
【サッポロクラシックカップ [H2]】

パイロは現在14歳。2005年2月19日のアメリカ産馬となります。父はPulpit、母はWild Vision (母の父Wild Again)。生涯成績は17戦5勝ながらも、うち2着は5回という堅実な成績を残したのがパイロです。2歳時にGIで2度の2着となった後、3歳時のリズンスターSで初重賞制覇。その年にはルイジアナダービー、ノーザンダンサーSでも重賞勝利をあげます。4歳時、6度目のGI挑戦となるフォアゴースで初GI制覇を果たし、その次の年から日高町のダーレー・ジャパン・スタリオン・コンプレックスで種牡馬入り。NARのファーストシーズンサイアーで首位となるなど、産駒はダートを中心に活躍を続けており、昨年の兵庫ジュニアGPを勝利したデルマルブルーなど、毎年のように中央、地方を問わず重賞馬を送り出しています。

11.7
[木]

ディスクリートキャット賞
【ブロッサムカップ [H3]】

ディスクリートキャットは現在16歳。2003年5月1日のアメリカ産馬となります。父はForestryで、母はPretty Discreet (母の父はPrivate Account)。デビューからの6連勝でUAEダービー、ジェロームBCHと重賞を連覇。そして、シガーマイルでGI初制覇を果たしたディスクリートキャット。しかもUAEダービーではその年のエクリプス賞の年度代表馬Invasorを退け、ジェロームBCHは大差勝ち、シガーマイルはレコードに迫る好タイムという、センセーショナルな活躍を見せます。現役引退後の2008年からアメリカで繋養され、日本では2017年からダーレー・ジャパン・スタリオン・コンプレックスで繋養。海外ではGI馬を送り出しているだけでなく、輸入馬のエアハリファが根岸Sを優勝と、日本競馬への適性も示しています。

11.7
[木]

スクリーンヒーロー賞
【道営記念 [H1]】

スクリーンヒーローは現在15歳。2004年4月18日に千歳市の社台ファームで誕生しています。父はグラスワンダーで、母はランニングヒロイン (母の父サンデーサイレンス)。重賞で好走こそ見せながらも、なかなか勝利には繋がらなかったスクリーンヒーローですが、4歳の夏に名牝ダイナアクトレスの血が開花。11ヶ月の休み明けとなる支笏湖特別を勝利すると、アルゼンチン共和国杯で重賞初制覇、そしてジャパンCでは世界の強豪馬を向こうに回してGI初勝利も果たします。生涯成績は23戦5勝。現役引退後は新ひだか町のレックススタッドで種牡馬入りし、初年度産駒からGI6勝馬のモーリス、有馬記念を優勝したゴールドアクターを輩出。産駒はダートでも高い適性を示しており、2015年の北海優駿 (ダービー) をフジノザムライが制しています。

今シーズンは特別競走12レースも
「スタリオンシリーズ競走」として開催!

- 10/1 [火] フェノーメノ賞
- 10/17 [木] ケープブランコ賞
- 10/30 [水] デklarेशनオブウォー賞

「スタリオンシリーズ競走」は、一般社団法人JBC協会 (ジャパンブリーダーズカップ協会) が産地の支援を得て、優勝馬の馬主や生産者に種牡馬の翌年度種付権利を副賞として贈呈する競走です。 ※生産牧場が海外の場合は付与対象外となります。

